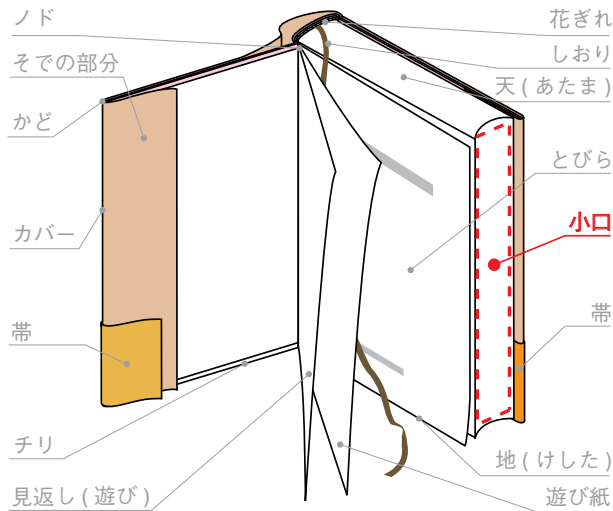


小口

こぐち



概要

小口（こぐち）とは、書籍や雑誌などの冊子で、綴（と）じられた側 [=背] と反対の、開く側にあたる裁断面をいいます。

小口はほんらい切断面を意味する言葉です。現在の一般的な書物の製造工程では、印刷後の製本の段階で、綴じられた側を除く三方（さんぼう）を裁断し外形を整えます [=化粧裁ち] が、この際に裁断された三方の面が小口です。ただし、三方のうち上方は「天」、下方は「地」と呼ばれることが多いため、通常「小口」といえば、綴じられた側と反対の裁断面を指します。ほかの小口と区別して前小口（まえこぐち）と呼ばれることもあります。裁断面に金箔を付け装飾する小口金（こぐちきん）における小口は、前小口・天・地の三方を指します。

和装本は袋綴じのものが多いため、その場合は背・上方・下方が小口に相当します。このうち背の小口は背書（はいしょ）、上方の小口は上小口（うわこぐち）、下方の小口は下小口（したこぐち）、と呼ばれます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A

B

C

D

E

F

G

H

I

J

K

L

M

N

O

P

Q

R

S

T

U

V

W

X

Y

Z

数字